



中学生・高校生が SDGsを考える ワークショップ (全2回)



開催日時：7月26日(土)、2月14日(土)

発展途上国で国際協力活動経験があるJICA講師を招いて、中高生が「私たちができること」を考え意見を共有し合うワークショップを、ゆめタウン2階のゆめホールにおいて開催しました。
参加した生徒たちはSDGsについて改めて考え、理解を深める有意義な時間を過ごしたようです。

第1回7月26日(土)：16名参加。SDGsについての全体的な話、多文化共生や移民・移住について等 (パートナーシップ、まちづくりの観点)



第2回2月14日(土)：3名参加。それぞれの立場に立って考えるロールプレイング



Home Visit Program 2025

ホームビジットとは…

飯塚在住の外国人と飯塚市内のご家庭が、宿泊を伴わない形で交流を深めるプログラムです。お互いの文化交流や生活習慣の紹介などを行います。無理のない範囲で国際交流を楽しんでいただけます。

ホームビジットのホストファミリーは、毎年、年度初めから募集しております。皆様の周りで国際交流に興味をお持ちの方がおられましたら、ぜひ「ホームビジット」をご紹介ください。

対面式にて



交流の様子

今年度もホームビジットのマッチングが成立しました。マレーシア出身のアイミさんと市内在住の渡邊ファミリーです。アイミさんから7月中旬ホームビジットの申し込みがあり、渡邊ファミリーに受け入れていただくこととなりました。アイミさんは、飯塚市役所主催の日本語教室に参加している大学院生で、日本の文化や伝統的な遊び、お祭りなどに興味があります。一方、渡邊さんは長年英語学習に力を入れておられ、ご自身の語学力向上と異文化交流を希望されています。無理のない範囲で楽しくお互いの文化を紹介しながら、これからも交流を続けていただきたいと思います。

飯塚国際交流推進協議会とは

飯塚市には、ベトナム、韓国、インドネシアをはじめとする約40か国から来日した2,134名の外国人の方々がおられます。(2026年1月末現在)

飯塚国際交流推進協議会は、外国人を支援するボランティア団体、大学、関係機関が協力し合い、2006年に発足しました。国際都市いづかを目指して、「外国人の支援、異文化理解」、「国際社会に向けた人づくり」、「国際社会に向けた地域づくり」を推進しています。

目次

SDGs ワークショップ、ホームビジット	…Page 1
筑前茜染による国際交流、スピーチコンテスト	…Page 2
加盟団体紹介	…Page 3
お国料理、ピザ交流、まとめ	…Page 4

筑前茜染による国際交流に参加しました

筑前茜染（ちくぜんあかねぞめ）とは…

江戸時代末期、薩摩藩主島津斉彬公（さつまはんしゅしまづなりあきらこう）は国を象徴する旗印として、白地に赤の日の丸を考案し、筑前茜屋に伝わる「筑前茜染」で染め上げました。これが幕府に認められ、「筑前茜染」は日本初の日の丸を染め上げた技法となりました。

9月13日(土) サンビレッジ茜において、日本人と外国人、大人と子ども合わせて計28名が「筑前茜染による国際交流」に参加しました。午前中に行われたJICA講師によるワークショップは、異文化理解や多文化共生、社会的マイノリティについて考える貴重な学びの場となりました。昼食をはさんで、午後からはお待ちかねの「茜染」を体験しました。参加者は、出来上がりの模様を想像しながら工夫を凝らし、思い思いに白いハンカチを染料に浸していました。参加した皆さんの力作をどうぞご覧ください！



スピーチコンテスト2025 を開催しました

9月27日(土) 穎田交流センター別館において、「スピーチコンテスト2025 小学校・中学生の部」が開催されました。今年は、将来像や国際交流だけでなく、環境問題やAI、フィットネスや食に関して、34名の中学生が大変興味深いスピーチを英語で披露してくれました。小学校の部では3校が舞台に立ち、用意したスライドを使って元気よく学校の紹介をしてくれました。来年も、オリジナリティーあふれる素晴らしいスピーチをお待ちしております。



中学生の部

小学校の部



高校生の部



外国人の部



11月9日(日)には、飯塚市役所2階において「スピーチコンテスト高校生・外国人の部」を開催しました。高校生の英語スピーチ部門では、ボランティアや国際交流、追い続けたい夢などについて、流ちょうな英語で話してくれました。一方、外国人の日本語スピーチの部では、自国と日本の違い、夢中になっているもの、人気キャラクターにお願いしたいことなど、多岐にわたるテーマにおいて自信にあふれた日本語スピーチを楽しむことができました。来年も多くの方々に参加していただき、国際化に対する意識や相互理解を深めていきたいと思ひます。

加盟団体紹介 飯塚商工会議所

今回は、「飯塚商工会議所」をご紹介します。

商工振興課課長 下原健司 様にお話を伺いました。

飯塚商工会議所は、飯塚市における商工業の振興と地域経済の健全な発展を目的として活動する地域総合経済団体です。2026年現在の会員数は約1,600社を数えます。

本会議所は「商工会議所法」に基づき設立された特別認可法人であり、極めて高い公共性を有しています。主なミッションとして、

- ①政府や自治体へ商工業者の声を届ける「政策提言」
- ②経営支援を通じて企業の成長を促す「中小企業の活力強化」
- ③行政・市民と連携し地域を守る「地域経済の活性化」

の3柱を掲げています。

また、地域経済の代表として、留学生との交流イベントなど国際交流を通じた地域づくりや、多文化共生の推進にも注力しています。

飯塚商工会議所の主な事業

中心市街地活性化事業

飯塚市、飯塚市商店街連合会、その他関係団体と連携を図りながら、飯塚市の中心市街地の活性化事業を推進しています。



二子山部屋激励チャリティイベント



飯塚高校街なか学園祭

地域活性化事業

飯塚花火大会、街道まつり、遠賀川水辺ピクニック、雛のまつりなど観光事業や地域活性化事業の支援を行っています。



飯塚花火大会



遠賀川水辺ピクニック

いづか街道まつり お国料理バザー（タイ料理、コソボ料理）

10月26日(日)、「いづか街道まつり お国料理バザー」で、タイ料理のパッタイとコソボ料理のピテを販売しました。タイのパッタイは、エビやもやしなどが入った、米粉の平打ち麺センレックが癖になる甘辛い味付けのタイ風焼きそばです。一方、コソボ料理のピテは、生地を薄く重ねて具材を包むパイで、ホウレン草とチーズ、岩塩のハーモニーが好評でした。九州工業大学院の留学生を中心に、ユリス、筑豊SGG、九州工業大学の皆さんにご協力いただき、パッタイ101食、ピテ136食を売り切ることができました！ 予定していた終了時間より1時間も早く完売となったのは、皆さんにお手伝いいただいたおかげだと感謝しております。ありがとうございました。



(パッタイ/タイ料理)



(ピテ/コソボ料理)



ピザづくり&マダガスカルの鬼ごっこ「クバーラ」体験

12月13日(土)、庄内生活体験学校において、市内在住の外国人と日本人中学生が交流を図る「ピザづくり&マダガスカルの鬼ごっこ体験」が開催されました。当日は、外国人8名、日本人中学生10名が9時30分に現地へ集合し、自己紹介のあとグループに分かれてピザづくりをスタートしました。最初に粉を混ぜて生地を作りました。生地の発酵を待つ間、JICA講師から「クバーラ」の説明を受け、実際にみんなでやってみました！鬼ごっこの後は、ピザの生地を伸ばしてトッピングをし、かまどで5分程ピザを焼きました。焼き上がるまでの数分間が待ち遠しく、ようやく自分のピザを口にしました参加者たちは、大満足の様子でした。



飯塚国際交流推進協議会では、ボランティア活動を通じて外国人との相互理解と友好を深め、国際交流の輪が広がるよう、飯塚市在住または飯塚市内勤務の方を対象に、**イベントボランティア、日本語ボランティア、通訳・翻訳ボランティア**等を募集しています。

【加盟団体】 順不同

ボランティア団体

飯塚友情ネットワーク、留学生フロント
筑豊SGG、飯塚トーストマスターズ
いづか人材育成グループ『ユリス』
福岡県青年海外協力協会、国際文化交流センター

学校関係

福岡県国際理解教育研究会筑豊支部
九州工業大学情報工学部
近畿大学産業理工学部

飯塚高校

民間企業等

飯塚商工会議所
飯塚青年会議所

飯塚市

産学振興課
国際政策課（事務局）

国際交流や多文化共生の地域づくりに興味のある方は、事務局の国際政策課までご連絡ください。

（飯塚市在住または飯塚市内で勤務をされている方に限ります）

ご意見・ご質問は、飯塚国際交流推進協議会まで
お願いいたします。

事務局 飯塚市役所 経済部 国際政策課

〒820-8501 福岡県飯塚市新立岩5番5号

TEL : 0948-96-8507

FAX : 0948-29-5440

Email: kokusai@city.iizuka.lg.jp

